

学校教育目標	○しっかり考える子(問題解決力) ○心やさしい子(人間関係形成力) ○つよく元気な子(体力・活力)	【目指す学校像】	○児童にとって充実した学校 ○保護者にとって信頼できる学校 ○教職員にとって働きがいのある学校
		【目指す児童・生徒像】	○思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども○感性あふれる豊かな心をもつ子ども ○すすんで心と体を鍛えることができる子ども
		【目指す教師像】	○ありのままの児童を受け止め、個性を発揮させる教師 ○授業で勝負できる教師 ○家庭・地域との相互理解を深め協働できる教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	○基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指す。	○算数科を中心とした授業改善に努め、3つの資質能力の育成を図る。  ○ICTを活用した授業を充実させ、児童の「情報活用能力」の育成を図る。	○算数科に対するアンケート調査を実施し、学ぶ意欲の調査を行う。  ○昨年度の成果を受け、学校独自のアンケートを実施し、結果を分析して対応策を講じる。	4 全教員がアンケートを実施した。		4 アンケート調査で70%以上の児童が肯定的な回答をしている。					
				3 80%～100%未満の教員がアンケートを実施した。		3 アンケート調査で70%未満～80%の児童が肯定的な回答をしている。					
				2 70%～80%未満の教員がアンケートを実施した。		2 アンケート調査で60%未満～50%の児童が肯定的な回答をしている。					
豊かな心	○人権意識を高め、自他ともに大切にできる態度を育成する。	○道徳科を道徳教育の要の時間と位置付け、教科横断的な視点で各教科にて、計画的・発展的に行うようにする。	○学校司書が中心となり、ボランティアや委員会の活動等で連携を図り、子供たちの読書活動の一層の推進を行う。	4 各学級で図書室を月4回以上使用した。		4 90%以上の児童がタブレットを活用している。					
				3 80%～100%未満の教員がアンケートを実施した。		3 80%～90%未満の児童がタブレットを活用している。					
				2 70%～80%未満の教員がアンケートを実施した。		2 70%～80%未満の児童がタブレットを活用している。					
健やかな体	○健康への関心を高め、基礎的な体力の育成と向上を図る。	○生活指導・保健指導・学級活動の充実を図り、計画的な指導を行う。	○低・中・高の系統性を意識した年間指導計画の作成及び体育的活動の充実を図る。	4 全教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。		4 90%以上の児童が自己肯定感があると感じている。					
				3 80～100%の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。		3 80%以上の児童が自己肯定感があると感じている。					
				2 70%から80%未満の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。		2 60%以上の児童が自己肯定感があると感じている。					
輝く未来	○子どもたちが自立できる基礎を培う。また、日本の伝統・文化の良さを理解し郷土を愛する態度を育成する。	○規則正しい生活と健康・安全に留意できる児童の姿を目指す。	○入学時は「スタートカリキュラム」を実施し、学年始めにはなりたい自分を目指す「キャリアアルバム」を作成する。	4 全教員が学級活動計画を活用した指導を行った。		4 学級生活満足群が50%以上					
				3 80%～100%未満の教員が学級活動計画を活用した指導を行った。		3 学級生活満足群が40%以上					
				2 70%～80%未満の教員が学級活動計画を活用した指導を行った。		2 学級生活満足群が30%以上					

